

社会福祉法人 秋桜会
理事長 加賀 武夫 様

報告者 湊高台保育園
園長 加賀 英雄

園評価報告

令和5年度 園評価について、ご報告致します。

1 園の保育目標

「こころも からだも つよいこ」

- 愛着関係の確立
- 歩行等探索活動の保障
- 安心安全の保障

2 令和5年度の重点目標

- 乳児 ・生理的欲求が満たされ、安心した生活リズムで過ごす。
- 1歳児 ・自分の思いをしぐさや言葉で表現する。
・行動範囲を広げ探索活動を盛んにする。

3 令和5年度の計画

- 絵本の読み聞かせ（月刊絵本プレゼント）
- 運動あそびなどを通しての発達の支援（サンサン Room）
- 描画あそび・課題あそび（わくわく Room）
- 食育の推進
 - ・ 一人ひとりの発達に合わせて離乳食を進め、食べる意欲を育てる。
 - ・ 食事のリズムを整える。
 - ・ 炊き立て米飯の提供
 - ・ 食育活動・行事食の提供・献立の展示（レシピ配布）
 - ・ 野菜栽培から収穫までを見たり触れたりする体験。
 - ・ 食育だより発行。
 - ・ 保護者への離乳食づくりの助言（レシピ）
 - ・ アレルギー除去食提供
- 子育ての支援
 - ・ 保護者の育児に関する相談（子育てサロン）
 - ・ 担任との個人面談（年2回）
 - ・ 外部講師による親子あそびとトーク time（なかよしふれあい day・スマイル教室）

- ・ 子育て情報の提供（電子掲示板）
- ・ ホームページ開設（保護者のページ）
- ・ コスモスだよりの発行

4 自己評価について

保護者、職員にアンケートを実施し、どの程度達成されているかを点数化した。

アンケートは、各項目について

5：とてもそう思う、 4：おおむねそう思う、 3：少しそう思う、
2：あまりそう思わない、 1：まったくそう思わない、 0：よくわからない（無回答）
で回答してもらった。

集計後、5⇒5点・・・1⇒1点として点数化し、平均値を出した。

アンケートの方法：無記名（ただし、クラスは明記）

期間：令和6年2月10日～2月16日

対象者：保護者43名 回収率93.0%、職員24名 回収率100%（育休除く）

(1) 教育保育について

内容	取組状況	令和4年度	評価
① 園では、保育目標に沿い、発達に応じた保育がなされていますか。	園児の甘えと受容を十分に保障してゆったりと応答的な保育を心がけるようにした。	保護者 4.4 職員 4.5	子ども一人ひとりの家庭環境や生活経験は必ずしも様ではない為、発達の姿を理解し、その子の課題に応じた指導を意識して保育を行うことができた。
② 園では子どもたちが楽しく様々な経験が出来るような環境が整えられていますか。	1年目に引き続き、サンサンRoomでは、運動あそびや感覚あそびで脳を活性化する体験、わくわくRoomでは、様々な画材を使って、指先を十分に動かしながら描画あそびを楽しむ体験をした。	保護者 4.7 職員 4.5	子どもは遊びを通して必要な能力を身につけて成長していくという原点から、手作りの「感覚あそび」を用意し、たくさん指先を動かし、五感を通して様々な感覚を体験する遊びを取り入れながら保育を行うことができた。
③ 園では子どもたちが全身を十分に動かし、自然に触れながら楽しく遊んでいますか。	園庭に設置した低年齢用の固定遊具でのびのびと遊び、移動式砂場に抗菌砂を入れて砂あそびを楽しむ。また、散歩車に乗り散歩に出かけるなど、外遊びをこれまで以上に増やし、体を十分に動かして遊ぶことを5年度の大きな目標にした。	保護者 4.7 職員 4.4	散歩や外遊び、水遊びの回数は明らかに増えた。昨年度、冬の遊びが少なかったというアンケート記載があったため、0～1歳児でも楽しめる雪遊びの体験を職員で話し合い、室内に雪を入れて触ったり、握ったりして冷たい感触をあげたり、園庭の雪

			の上を歩いて踏み心地を感じながら雪の風景を楽しむことができた。
④ お子さんの気持ちや様子・子育てについて職員と話したり相談ができますか。	送迎時や連絡ノート、個人面談（子育てサロン）などで保護者の悩みや相談と一緒に考え、一緒に子育てをしている気持ちで対応し、安心して何でも話せる雰囲気づくりや環境整備に気を配る。	保護者 4.6 職員 4.5	送迎時以外でも必要に応じて気になることがあればいつでも話せる雰囲気を作り、支援室でゆっくり話せる態勢を整え、声かけを行った。 また、個人面談を進級前の2月にも実施し、情報交換を行うことが出来た。

(2) 健康保健安全について

内容	取組状況	令和4年度	評価
⑤ 食事への配慮や給食・おやつ献立は充実していると思いますか。	毎月の給食会議では、献立の味付けや量などについての話し合いや情報交換を行った。玄関に行事食などの献立を展示するとともに、人気のメニューや新メニューのレシピを玄関に置き、自由に持ち帰れるようにした。	保護者 4.8 職員 4.6	アンケートでは最も高い評価となった。 保育参観で、保護者が子どもたちの給食の様子を参観することができ安心につながったようだ。家では甘えて食べないのに自分で食べている姿に感心したという保護者も多かった。
⑥ 健康管理、感染症などに対する情報、急な体調の変化に対し適切な対応がされていますか。	1日数回（5回程度）の検温を行った。発熱に気づいた際は緊急連絡先の順に従って、速やかに連絡をし、園児の体調やその対応について十分に説明した上で保護者（など）に引き渡しを行った。	保護者 4.7 職員 4.5	0～1歳児の病状の変化として時間とともに大きく変化することがあること（急変）や、子どもは自分では症状を正しく伝えることができないため慎重に様子を見ていることを保護者にも理解を得ながら対処することができた。
⑦ 園の施設、環境は適切に整えられ、衛生面に配慮していますか。	保育園で行っている感染症対策の内容を一覧にし玄関に展示したり、保育室や遊具の消毒の様子を電子掲示板で配信するなど、衛生面での情報を積極的に配信した。	保護者 4.7 職員 4.4	令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症は5類感染症となったが、感染対策はそれまでと何も変えることなく、衛生面や換気などに配慮しながら、感染対策の予防に気をつけて保育を行った。
⑧ 不審者などへの保育園の安全管理について十分だと思いますか。	園児が全員登園した後に門扉と玄関の施錠を行っている。不審者対策訓練は年2回行い、防犯カメラに映る不審者役の姿を追いながら、保育室にいる園児の誘導避難を行い、それぞれの役割に沿って不審者から子どもの命を守る訓練を行った。	保護者 4.5 職員 4.5	令和5年3月から、セキュリティー対策として玄関ドアの施錠を自動ロックにし、外部からの侵入防止をさらに強化した。 散歩中は、ネットランチャー、警棒、携帯は必ず常備して出かけるなど散歩のマニュアルに沿って計画を立てた。

(3) 園全体の運営について

内容	取組状況	令和4年度	評価
⑨ 園からのプレゼントの絵本は親子の触れ合いのきっかけになっていますか？	愛着形成を促し親子で絵本を楽しみながら応答的なかかわりを増やすことで聞く力や話す力を育てることを期待し、令和元年度から絵本のプレゼントを続けている。	保護者 4.6 職員 4.3	親子で一緒に絵本を楽しむことで子どもの心が安定したり、子どもたちの成長を促すコミュニケーションのきっかけになるよう今後も絵本のプレゼントは継続していきたい。
⑩ 登降園時に、職員からお子さんの様子や健康状態などについての声かけがありますか。	新型コロナウイルス対策により、健康状態にはいつも以上に気を配り、保護者にも協力をお願いをした。	保護者 4.8 職員 4.6	日々の情報交換は大事にしている。子どもたちの健康の情報は保護者の安心や喜びにも繋がるという思いで保育士同士でも共有しながら保育につなげている。
⑪ 園からの手紙（お知らせ、園だより、クラスだより、電子掲示板、ホームページ等）は適切にわかりやすく情報発信を行っていますか。	玄関に電子掲示板を設けた。 保育の様子や行事の様子を写真や動画で配信し、登降園時に見ることが出来るようにした。また、ホームページも新しく改設し、在園している保護者だけが見られる「保護者のページ」を設け、園で過ごしている子どもの様子をスマホでも見られるようにした。	保護者 4.6 職員 4.4	電子掲示板は、園での子どもの様子や活動の様子の見える化の他に、子育てサロンの講座のお知らせや、子育て情報の案内板としても利用している。 子どもたちの様子や情報が、分かりやすく目に入ってくるので保護者からの喜びの声が多かったが、もう少し頻繁に情報配信ができれば良かったという反省が残る。
⑫ 園は食育について積極的に取り組んでいますか。（給食の提供、食育だより、野菜の栽培と収穫、食育活動、献立の展示）	本物の食材を見る、触れる、嗅いでみるなどの目的のためにプランターで、きゅうり、トマト、ピーマン、なすなどの夏野菜を栽培し、子どもたちが野菜に実際に触れることができた。	保護者 4.8 職員 4.5	食育だよりは5回発行。 食育活動の内容は、ふりかけ作り、さつまいもの茶巾しぼり、カップ寿司作りを楽しんだ。給食を楽しく食べるという食育の推進は、とても高い評価となった。
⑬ 園の子育て支援は、子育てに役立っていると思いますか。（個人面談、子育てサロン開催、コスモスだより発行など）	少しでも子育てを楽しんでもらいたい、仕事も家事もイキイキしてリフレッシュしてほしいという思いから、当園の職員である子育て指導員が講師となり、子育ての相談や講座を通して保護者を支援している。	保護者 4.4 職員 4.5	子育てサロンに参加した保護者からの感想は、「楽しかった！」「ためになった」「リフレッシュできた」など満足の声が聞かれ、こども園の保護者になってからも継続して参加している。さらに子育てサロンの時間を保護者に合わせ参加しやすい時間に調整をすることにより、午前中の利用者も増えた。

4 評価結果

(1) 運営の成果について

- ・全職員で目標や保育内容・保育計画の共通理解をおこない、子どもの姿や方向性を話し合いながら、保育園2年目の教育・保育を大切に進めた。
- ・令和5年度の目標として引き続き、外あそびや運動あそびに力を入れ、体を使って遊ぶことを毎日の大切な活動の一つとして位置づけることができた。
- ・サンサン Room、わくわく Room、子育てサロン、ふれあい運動会、ホームページなどを通して、園で大事にしていきたいことを外部講師と一緒に伝え、実践することができた。
- ・保育の見える化を行うことで、子どもたちの様子や活動の様子が見えるようになり、保護者の安心と喜びの声に繋げることができた。しかし、もう少し頻繁に配信することができれば良かった。

(2) 保護者自由記載

- 安心して保育園に預けることができています。いつもありがとうございます。
- 色々な面において園全体的に大満足しています。
- いつも子どもにやさしく接して下さり感謝しています。
楽しそうに園に通っていて安心して仕事に行けます。有難うございます。
- 先生方一人ひとりが子どものことをよく理解し、愛情を持ってかかわって下さっているのがとても伝わります。いつも安心して預けさせていただいております。毎日本当にありがとうございます。
- 今年度も感染対策しながらの様々な行事などありがとうございました。毎日泣かずに楽しそうに登園出来たのも先生方のおかげだと思っています。来年度から保育園に登園しないのが寂しいです。今年度1年間ありがとうございました。
- 子どもの成長に応じて、様々な体験ができ毎日楽しそうに過ごしています。食事に偏りがある子どもですが、丁寧に寄り添っていただき、少しずつ食事の楽しさ、完食の達成感など感じているところです。先生方のおかげです。ありがとうございます。
- 親が知らない内に覚えていることが多く、園でのご指導のおかげと思います。園でよく歌う唄や手あそびうた、踊りなど、もっと教えていただけると、家でも促して新しい一面を見る事ができるのかなと思っていました。引き続き宜しくお願いします。
- つぼみ組の時よりは増えたけど、もう少し外遊びを増やしてほしい。
製作をもう少し自由にやらせてもいいと思います。

登園をいきなりやっと到着したところに、子どもの服をほめてくれたり、楽しい気分になるように迎えて下さりとても感謝しています。

○駐車場全体に白線が欲しいです。

○他の保護者の方と先生のやりとりが聞こえて思ったのですが、子どもが「パパ」と言っていたことを、先生が保護者の方に「パパいないのに、何かな～」のように言っているのを聞いて、あまり気分がいいものではありませんでした。何気ない言葉だったと思いますが子どもの前でそういった話はどうかかなと思いました。(状況がわからず私が勝手に思ったことなので間違っていたらすみません)

(3) 次年度に向けての課題

安心して預けられるという記載に対して大変嬉しく思う。高評価の結果に対してはこの結果に満足することなく、今後も保護者の皆様に信頼していただける園を目指し、貴重な意見や要望、指摘を今後の運営に役立て、改善できるところは改善して保育に活かしていきたい。

- ・引き続き外遊びをたくさん取り入れ、日々の保育内容の充実と共に、外部講師による「サンサン Room」や「わくわく Room」を通して成長や発育に大事な支援や、運動あそび、感覚あそび、描画遊びをさらに高めていく。
- ・親子参加の「なかよしふれあい Day」の行事を通し、親子のふれあいあそびやベビーマッサージ、産後の体のケアや子育てのヒントに繋げる講話など楽しく参加できる子育てのサポートを目指す。
- ・子育て支援専属のスタッフによる「子育てサロン」を通して、子育てに必要な知識や情報を学ぶだけでなく、ゆったりとくつろぎながら子育ての講座や母親のためのリフレッシュ講座、さらに地域の子育て世代の方や赤ちゃんが気兼ねなく集える場所として、その方々と交流を深めながら育児支援に取り組んでいく。
- ・保育士間で、定期的に話し合いの場を設け他のクラスとも気軽に情報交換をし、議題を決めて共有する。
- ・保育士が園児と良好な関係を築けるよう、保育士の意識を高める教育体制や研修体制を整える。